

topacork



ポルトガル／コルク樹の森

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

自然を保ち、恵みを授かる。
持続可能な地球環境保全をめざして。

topacork 人・地球環境を考える
東亜コルク株式会社

本社 大阪府大東市新田中町5-1 TEL.072-872-5691 FAX.072-872-5695
東京営業所 東京都台東区元浅草2-7-14 保坂ビル2階 TEL.03-3833-5691

<https://www.toa-cork.co.jp>

東亜コルク株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

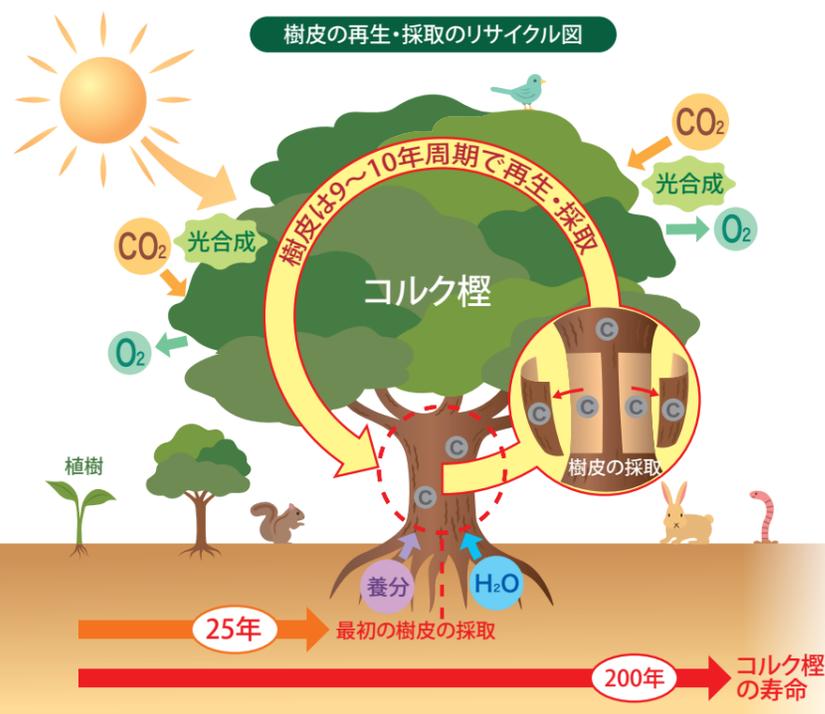
地球環境に優しい素材「コルク」は、コルク櫨の樹皮です。

東亜コルク株式会社の製品は、生産量、コルクの森の面積とも世界一のポルトガルでつくられています。

ポルトガルのコルクの森はコルク櫨の植林木で南欧の砂漠化を防ぐとともに、鳥類・哺乳類・爬虫類・植物菌類などの生物多様性を保っています。

このコルクの森では、1年間に14.7t/haのCO₂を蓄え続けています。コルク製品の原料となるコルク櫨の樹皮は、剥がした後9～10年の周期で再生します。樹皮を採取されたコルク櫨は、樹皮再生のために通常の3～5倍ものCO₂を吸収します。

この親木を伐採することなく、15～20回樹皮の採取できる特性を活かして、植林・採取・伐採を計画的に繰り返すことで、自然環境を維持しながら持続可能な製造サイクルを実現しています。



東亜コルクは持続可能な開発目標に貢献していきます。

東亜コルクの事業活動とSDGsの重要課題

当社は持続可能な社会の実現に向けSDGsの17目標を尊重するとともに、当事業に関連した3つの目標を重要課題とし、取り組みを進めていきます。



コルクは、様々な分野で利用されている素材です。



炭素固定化の推進

コルクの樹皮の多くはワインストッパーとして利用されますが、その製造時で残ったコルクウエストをコルク粒にして、コルク床材などが開発されました。

こうした側面もコルク製品の持続可能性を高め、多くの炭素をコルク製品に固定することに寄与しています。

東亜コルク株式会社は、住宅・幼保施設・福祉施設・公共施設等の各種建築物にコルクタイル・ロールコルクなどのコルク建材を納入することで、炭素の固定化を積み重ねてまいります。

コルク建材納入による炭素固定蓄積量 (t-CO₂) 目標

2020年度 実績	248 t-CO ₂
2021年度 実績	520 t-CO ₂
2022年度 実績	775 t-CO ₂
2023年度 実績	1,006 t-CO ₂
2025年度 目標	1,600 t-CO ₂
2030年度 目標	2,900 t-CO ₂